

診療科(講座)紹介

URL <http://www.fmu.ac.jp/home/masui/masui-top.htm>

- 1) 臨床：あらゆる手術の周術期管理、痛みの緩和、重症患者救命のための集中治療によって、患者のQOLの向上を目指す。
- 2) 研究：基礎医学と共同し、生命科学の最先端を探索する。
- 3) 研修：研修医は麻酔だけにとどまらず、集中治療やペインクリニックの研修も行い、付加価値を持った麻酔科医を養成する。

指導医(スタッフ)紹介



麻酔・疼痛緩和科部長(教授)
村川 雅洋

昭和48年 東大寺学園高等学校卒業
昭和55年 京都大学医学部卒業
主な研修病院
京都大学医学部附属病院、大阪厚生年金病院
臨床専門分野
1) 麻酔(特に、肝臓移植、肝臓外科の麻酔)
2) 集中治療
3) ペインクリニック
研究分野
全身麻酔薬の神経薬理(全身麻酔薬が脳内の神経伝達物質に及ぼす影響を検討し、麻酔作用機序の解明を目指しています)

学会活動

- 1) 日本麻酔科学会 代議員
- 2) 日本集中治療医学会 評議員
- 3) 日本ペインクリニック学会 評議員
- 4) 日本臨床麻酔学会 評議員
- 5) 日本小児麻酔学会 評議員
- 6) 日本蘇生学会 理事、評議員
- 7) 日本臨床モニター学会 理事、評議員
- 8) 日本疼痛学会 評議員



手術部部長(教授)
黒澤 伸

昭和55年 宮城県仙台第一高等学校卒業
昭和62年 秋田大学医学部卒業
臨床専門分野
1) 麻酔(特に脳死移植)
2) ペインクリニック
3) 集中治療医学
研究分野
1) 全身麻酔薬が免疫に及ぼす影響
趣味：ジャズレコード収集



集中治療部部長(准教授)
五十洲 剛

昭和55年 岩手県立福岡高等学校卒業
昭和61年 福島県立医科大学卒業
主な研修病院
福島県立医科大学附属病院、
(財)脳神経疾患研究所附属総合南東北病院
臨床専門分野
1) 麻酔(術中輸液管理、硬膜外鎮痛法)
2) 集中治療
研究分野
術中輸液についての研究を行っています



准教授 **池上 之浩**

平成2年 福島県立医科大学卒業
主な研修病院
帝京大学救命センター
臨床専門分野
1) 麻酔
2) 救急医療
3) 集中治療
研究分野
1) 急性呼吸不全
2) 外傷



講師 **佐藤 薫**

昭和63年 石川県立小松高等学校卒業
平成7年 福島県立医科大学卒業
平成16年 福島県立医科大学大学院修了
主な研修病院
福島県立医科大学附属病院、太田西ノ内病院
臨床専門分野
1) 緩和医療
2) ペインクリニック
研究分野
1) 心臓の虚血再還流障害とエクトヌクレオチダーゼの関連について
趣味：スキー



手術部副部長(講師)
小原 伸樹

平成6年 岩手県立盛岡第一高等学校卒業
平成12年 福島県立医科大学卒業
主な研修病院
福島県立医科大学附属病院、竹田綜合病院、会津中央病院
臨床専門分野
1) 麻酔一般
研究分野
1) 静脈麻酔薬・鎮痛薬の薬物動態・薬学的研究
趣味：マラソン



助教 **中野 裕子**

平成10年 豊岡女子学園高等学校卒業
平成16年 福島県立医科大学 医学部卒業
臨床専門分野
1) 麻酔一般
研究分野
1) テブレノンの生体に及ぼす影響について
趣味：スキー、美術鑑賞



集中治療部副部長(助教)
箱崎 貴大

平成9年 磐城高等学校卒業
平成15年 自治医科大学卒業
臨床専門分野
1) 麻酔科学
研究分野
1) 麻酔薬の耐性
趣味：靴磨き、お酒



助手 **今泉 剛**

平成元年 東京都私立暁星高等学校卒業
平成6年 慶應義塾大学 経済学部卒業
平成17年 福島県立医科大学 医学部卒業
臨床専門分野
1) 麻酔一般
趣味：旅行、音楽

後期研修(専門医養成コース)プログラム

	修得すべき手技や手術経験目標数など
1 年 次 (卒後3年)	【知識】医療の基本となる呼吸・循環管理、輸液管理、疼痛管理について学び、理解する。 【実技】原則として、ASAⅠ～Ⅱの患者での麻酔研修を行う。一般的な麻酔手技として、静脈ライン、動脈ライン、中心静脈ライン、肺動脈ラインの挿入ができる。また、脊髄くも膜下麻酔、硬膜外麻酔の手技の確立を目指す。
2 年 次	【知識】心臓血管外科患者の麻酔をすることで、体外循環の基本原則を学ぶ。またASAⅢ以上の患者の麻酔を通じて、さまざまな病態に対する麻酔法を学び、理解する。 【実技】ASAⅢ以上の患者の麻酔も行う。心臓血管外科麻酔や乳児、新生児の麻酔もできる。挿管困難症に対する対策と挿管手技の確立を目指す。
3 年 次	【知識】ショック患者の病態生理と麻酔管理について学び、理解する。また、集中治療部での研修を行い、重症患者管理と人工呼吸器の原理・使用法について理解する。 【実技】ショック患者の緊急手術に対応でき、安全に管理できる。重症患者管理ができ、人工呼吸器も使いこなせる。
4 年 次	【知識】ペインクリニック外来で神経ブロックの基本を学び、理解する。 【実技】患者の症状にあわせ、適切な神経ブロックによる治療ができる。

大学院・留学について

【大学院】

現在 5 名の大学院生が在籍している。

主な研究テーマ

- ①全身麻酔薬の神経薬理作用の研究
脳内神経伝達物質放出や脊髄の痛覚伝導に及ぼす麻酔薬の影響をマイクロダイアリシス法や免疫組織学的手法を用いて研究し、麻酔メカニズムの解明を目指している。
- ②局所麻酔薬中毒に対する脂肪製剤急速投与の効果の研究
脂肪乳剤投与前後の脳内局所麻酔薬濃度の変化を、マイクロダイアリシス法を用いて測定し、局所麻酔薬中毒に対する脂肪製剤急速投与の有効性の解明を目指している。
- ③静脈麻酔薬・鎮痛薬の薬物動態・薬力学的研究
プロポフォール、デクスメトミジンおよびアセトアミノフェンの、投与方法や患者特性による薬物動態および薬力学への影響について研究し、より安全・有効な麻酔薬の投与方法の確立を目指している。

【留 学】

アメリカ：ユタ大学 薬力学・薬物動態解析研究
その他、小児麻酔や心臓麻酔、ペインクリニックなどの研鑽のため国内留学も行っている。

専門医受験資格のために必要とされる技能・手技目標

1) 麻酔科標榜医

以下の基準で認められる。

- 基準 1 医師免許を得た後、麻酔に関する適当な指導者のいる病院で当該指導者の下に 2 年以上専ら麻酔の業務に関する修練を経たもの。
- 基準 2 医師免許を得た後、2 年以上の麻酔の業務に従事し、かつガス麻酔器を使用して 300 例以上の麻酔の経験を有するもの。
- 基準 3 上の 2 つに該当しないもので、上の 2 つに掲げるものと同等以上の麻酔に関する労力及び技能を有するもの。

当院での研修では、基準 1 により申請することで取得できる。

最短取得年数：2 年（初期研修で麻酔科を選択していれば、その期間が短縮されます。）

2) 麻酔科認定医

申請時に日本麻酔科学会正会員であり、麻酔科標榜医あるいは麻酔科標榜医の申請中であれば、申請により取得できる。

最短取得年数：2 年

3) 麻酔科専門医

申請資格

- ①麻酔科認定医として、満 2 年以上麻酔科関連業務に従事していること。
- ②認定病院で満 1 年以上かたよらない麻酔管理業務に従事していること。
- ③申請する年の 5 年間に、日本麻酔科学会が定める所定の研究実績（50 単位）を取得していること。

最短取得年数：5 年

後期研修協力病院

	関連病院名	所在地	指導医名	職 名
1	福島県立医科大学会津医療センター	会津若松市	白石 克則	講 師
2	公立藤田総合病院	国 見 町	丸 浩明	部 長
3	福島赤十字病院	福 島 市	安達 守	部 長
4	大原総合病院	福 島 市	田中 洋一	副 院 長
5	総合南東北病院	郡 山 市	管 桂一	副 院 長
6	星総合病院	郡 山 市	武藤ひろみ	部 長
7	太田西ノ内病院	郡 山 市	熊田 芳文	部 長
8	寿泉堂総合病院	郡 山 市	渋谷 正夫	部 長
9	会津中央病院	会津若松市	小沼 利安	診療部副部長
10	竹田総合病院	会津若松市	荻野 英樹	科 長
11	白河厚生総合病院	白 河 市	岡崎美智弥	部 長
12	いわき市立総合磐城共立病院	いわき市	矢内 裕宗	部 長
13	米沢市立病院	山 形 県	松本 幸夫	副 院 長

指導医からのメッセージ

当科は麻酔（手術患者の周術期管理）、集中治療、ペインクリニック、緩和医療の 4 つを柱に診療を行っています。現在は、スタッフ 19 名がそれぞれの専門性を活かした指導体制をとっています。平成 18 年度以降に新臨床研修制度を修了して当科に進んだ後期研修医は 3、3、4、3、2、1、2、1、1 名で、平成 27 年度は、3 名を迎えました。関連病院は県内に 12 施設、山形県に 1 施設あり、いずれも地域の中核医療機関としてアクティブな病院です。その他に、小児麻酔や心臓麻酔、ペインクリニックなどの研鑽のため、県外の専門病院へ国内留学も行っています。ぜひ、われわれの仲間となり、麻酔科専門医、集中治療専門医、ペインクリニック専門医、緩和医療専門医を目指しませんか。「麻酔科医」ほど現代のニーズにマッチした医師はありません。

